学校番号	218

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)国語常識	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	新版二訂　必携国語（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進路に向けて高校生として必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを目指します。
・問題集で演習することにより基礎的な言語能力と自己表現力を仕上げます。
・口語文法の正しい知識を学び、きちんとした日本語を扱う力を習得します。
・学校で学んできた事を中心に解く問題から、国語における一般常識問題や教養試験対策の問題も扱います。
・表現に関してはしっかりした文章を書くための基礎を正しい表記の方法から始めて、段階的に演習します。
・敬語の使い方、手紙文の書き方、電話の応対、履歴書の書き方など、試験や実生活で役立つ実用的な知識を、演習を通して修得します。
・漢字や文学史・文学作品の冒頭部などの国語の知識だけでなく、社会で役立つ知識も学習します。

2　学習の到達目標

・基礎的な言語能力と自己表現能力を仕上げる。
・筆記試験や面接において、適切に思いや考えを表現することができる。
・面接試験などにおいて、相手を尊重し、理解を深め、正しく意思の疎通ができる。
・言語感覚を磨き、正しい日本語、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・国語の基礎学力を充実させると共に、就職試験や入学試験に必要な知識を確実に身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝える力を高めると共に、言語文化に対する理解を深め、国語力の向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話をしたりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 (テキスト、ワークシート等)	・行動の観察 (発表等の実績の評価)	・記述の確認及び分析 (ワークシート、原稿用紙)	・記述の確認及び分析 (ワークシート) ・定期考査	・行動の観察 (テキスト、ワークシート等) ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	漢字・語彙編	頻出漢字−書き取りと読み 難読語−熟字訓・当て字 ことわざ・慣用句 故事成語 口語文法	○		○		◎	a:言葉の持つ意味や用法を理解しようとし、それをきちんと使いこなそうとしている。 c:正しい日本語の表記方法を理解し、適切な表現を習得できている。 e:書くことに必要な基礎的な知識(漢字の読み書き、語句の意味、語句の用法、国語の表記の仕方)について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c:行動の観察及び記述の点検 e:記述の確認及び定期考査
2学期	漢字・語彙編	漢字の読み書き ことわざ・慣用句 故事成語 文学史のポイント 古典常識 教養試験対策	○			○	◎	a:言葉の持つ意味や用法を理解しようとし、それをきちんと使いこなそうとしている。 d:語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。 e：文語時代の日本語の理解を深め、口語との違いを理解している。また、これまでに得た知識を文章読解に応用し、文章を正しく理解出来ている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認及び定期考査
	一般常識編	原稿用紙の使い方 口語文法 履歴書の書き方 敬語の使い方 面接 電話の応対	○	◎			○	a:目的や場に応じて、効果的に話そうとしている。 b:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察及び記述の点検 e:記述の点検と確認
3学期	作文編	悪文訂正 課題作文 手紙の書き方	○		◎		○	a:正しい表記法を身につけ、表現しようとしている。また、読み手によく分かるような文章を書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などを工夫して書いている。 e:正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の点検と確認及び分析 e:記述の点検と確認

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c：書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）及び「知識・理解」に関わる観点には◎を付している。